



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

第1275回例会 令和2年12月7日 No. 1136

会長：高橋 聖明・幹事：宮下 正幸

《点 鐘》 高橋(聖)会長

《斉 唱》

国歌「君が代」
ロータリーソング「我等の生業」

コロナウィルス
感染予防の為、
割愛

《友愛の握手》

《ゲスト・ビジター紹介》 松本SAA

《出席報告》 高橋(誠)親睦活動委員

会員総数	53名	出席ベース	42名
本日の出席者	30名	欠席者	12名
出席率	71.43%	前々回訂正出席率	85.71%

《ニコニコボックス報告》 近藤親睦活動委員

会員誕生祝…羽生田宇多子君、竹村 利器君
小野 公人君
結婚記念祝…近藤 安廣君、内藤 由幸君

小林 基司君

…本日初めての卓話、宜しくお願ひします。

松橋 輝久君、金井 敬司君、高橋 誠一君
市川 晴樹君、小宮 慶洋君、祢津 吉通君
三郷 豊久君、松本 研一君、中澤 義仁君
滝澤 晃君、土井 悅代君

…小林さん、卓話よろしくお願ひします。

実行委員長 筒井 義寛君、渡辺 周二君

副実行委員長 松山 秀男君

…創立30周年事業総て終りました。有難うございました。また記念旅行も無事行って参りました。ご参加いただいたメンバー並びにご家族の皆様方に感謝申し上げます。

金子 肇君、竹村 利器君、高池 忠克君

羽生田宇多子君、高木 正雄君、近藤 安廣君

高橋 聖明君

…昨日はコンパクトないい旅行でした。お世話になりました。

《会長報告・挨拶》 高橋(聖)会長

本日は例会前に理事会がありましたので、まず理事会の報告をさせていただきます。



12月21日のクリスマス例会については、新型コロナウィルスの感染が拡大している状況にあることから中止にすることにしましたが、来年1月18日の新年夜間例会についても開催するかどうか理事会で審議しました。年末年始には感染拡大のおそれがあることなどを考慮して、苦渋の選択ではありますが、新年夜間例会も中止することを決定しました。ご理解くださいますようお願ひいたします。

なお、一昨日の創立30周年記念旅行では、能作での鎌物制作を楽しんだり、富山の美味しいお寿司と地酒に昼間から舌鼓を打って堪能したりしました。実行委員会の皆さま、ありがとうございました。

ここで、会長挨拶をさせていただきます。

例によって金田一春彦先生の「ことばの歳時記」ですが、本日12月7日のお題は「アラレ」です。

昔は底冷えのするような日の夕方にパリンパリンと軒のひさしを叩いて細かな白い霰(アラレ)が降ることがありました。同じアラレと呼ばれるものに、お酒のつまみにもする小型のせんべいがあります。この小さい平たい四角いアラレ、どう見ても降る霰に似ていませんが、これは、昔、かきもちという堅い食品を小さく刻んで焼いて食べたことが始まりということで、その当時は、形もコロコロしていて降る霰に似ていましたが、堅い物は歯

に合わなくなってきて、形も薄く大きくして、今のような霰とは似ても似つかないアラレができたということが書かれています。

気象庁によると、霰は、雲から降る直径5ミリ未満の氷の粒で、5ミリ以上のものは雹として区別しているそうですが、「あられ」と「おかき」と「せんべい」の違いは、霰と雹ほどはっきりとしていません。

うるち米を原料としているのが「せんべい」、もち米を原料としているのが「あられ」と「おかき」で、小さいのをあられ、大きいのをおかきと言っているそうです。

「あられ」の由来は今お話ししたとおりですが、「おかき」は正月に神様に供えた鏡もちを槌で欠き割って、揚げたり焼いたりしたもので、欠いたもち、つまり、「欠きもち」に丁寧の意味を持つ「お」を付け、おかきになったそうです。

「せんべい」の由来は諸説あるようですが、私は、埼玉県の草加にあった団子屋さんの「おせんさん」という人が、旅人から教わって余った団子の残りを平たく潰して焼いたのが始まりという説を信じたいと思います。

ところで、私たちにお馴染みの「柿の種」ですが、柿の種ももち米を原料とするあられです。

柿の種を最初に作ったのは、新潟県長岡市にある米菓子メーカの浪花屋製菓だそうです。創業当初はうるち米のせんべいを作っていましたが、その後、大阪のあられ作りを取り入れもち米を使つたあられを作るようになりました。当時はすべて手作業で薄くスライスしたもちを何枚かに重ね、小判型の金型で切り抜いて作っていましたが、ある日、その金型をうっかり踏み潰してしまい、元に直らずそのまま使用したところ、歪んだ小判型のあられになってしまいました。創業者の今井與三郎が、それで商いをしていたところ、「こんな歪んだ小判型はない。形は柿の種に似ている」と言われ、大正年間に柿の種が誕生したということです。

さて、柿の種といえば、「柿ピー」です。柿の種と剥き身のピーナッツの組み合わせですが、これが生まれたきっかけにも諸説ありますが、新潟市の亀田製菓の直売所で、創業者の妻が店番をしていた際に、思い付きでピーナッツと柿の種と一緒に食べてみたのが始まりという説があります。

亀田製菓の柿ピーの柿の種とピーナッツの配合比率は、発売後数年間は7対3であったそうです。

当時はピーナッツがやや高価であったため、小さめの粒を使っていましたが、その後、6対4を黄金比率として採用し、これが定番化していましたが、昨年、この配合比率について、「私、亀田を変えたいの。キャンペーン『当たり前を疑え！国民投票』」を実施して、7対3が首位になり、今年の8月から7対3の比率に変更された柿の種が販売されています。

「ママツコ」に扮するマツコ・デラックスのCM、「亀田の柿の種は、おやつ？それとも、おつまみ？」というCMを見た方もいらっしゃると思います。私は、柿の種をおつまみにしていますが、CMの子どものように、まさか「主食」にされている会員の方はいらっしゃらないと信じています。

本日も又とりとめのないお話しになりましたが、会長挨拶とさせていただきます。

《今月のお祝い》 おめでとうございます。



会員誕生祝（3名）

羽生宇多子君、竹村 利器君、小野 公人君

結婚記念祝（3名）

近藤 安廣君、内藤 由幸君、竹前 紀樹君

《齊 唱》 ロータリーソング「誕生日の歌」

CDのみ演奏

《幹事報告》 三郷副幹事

1. 国際ロータリー日本事務局経理からのお知らせです。
12月のロータリーレートは1ドル=105円です。



2. 国際ロータリー第2600地区より新クラブ設立のご報告が届いております。

クラブ名：信州友愛ロータリークラブ
加盟認証伝達日：2020年11月19日
所属グループ：中信第2グループ
会長：金児 進
会員数：22名

3. 例会変更のお知らせ

長野西RC…12月11日(金)年末家族会中止
12月18日(金)新型コロナウィルス
感染対策として休会
12月25日(金)定款に基づき休会
*いずれも定刻受付は致しません。

長野北RC…12月17日(木)
家族忘年例会でしたが、
通常例会(昼間)に変更いたします。
上田東RC…12月16日(水)
クリスマス家族会の為日程を変更
上田西RC…12月17日(木)
クリスマス家族会の為時間を変更
*いずれも定刻受付を致します。

《委員会報告》

◎ロータリー情報委員会より

6. ポール・コンピューター学院

アメリカウィスコンシン州、ベロイト・ロータリークラブと友人達は、400台のコンピューター、数千冊の本、および事務用器具を集めました。そしてそれらの物資を2001年5月に西アフリカで最も尊重され、大きい研修センターの1つであるカメルーンのポール・コンピューター学院に送りました。

《本日のプログラム》

会員卓話 小林 基司君



《点 鐘》 高橋(聖)会長

《12月14日のメニュー》 — 洋ランチ —

- ・鯛のマリネとデトックスサラダ仕立て
- ・クラムチャウダー
- ・信州ハーブ鶏のクリームチーズ詰め
- ・ベルギーショコラのプリン
- ・パン
- ・コーヒー

【12月14日のプログラム】 「ゲスト卓話」 長野青年会議所 理事長 伊藤 拓宗 様